

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse details including names, jockeys, and trainers.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of race statistics including start times, distances, and other performance metrics.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse names and jockey names.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse names and jockey names.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse names and jockey names.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse names and jockey names.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse names and jockey names.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse names and jockey names.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse names and jockey names.

Table with 11 columns representing race numbers (1-11) and 10 rows of horse names and jockey names.

中山 11 発走 15:45

第8回オーシャンステークス(GIII) (4歳以上、オープン)



1200m 1分06秒7

良 1分07秒台 重 1分09秒台

成績の見方

馬場状態、月日、着順、条件、時計、差秒、騎手、人気、通過順、前後半、下、1着または2着馬名

※ベース表記は...

ダッシュゴーゴーは重賞3勝馬、GIIIの2勝は58キロ、58・5キロでのもので、今回の別定56キロは断然有利。前走のシルクロードSは、休み明けで59キロを背負ってのハナ差2着。スローペースに折り合いを欠いたし、勝ち馬とは通ったコースの内外の差もあった。ひと叩きでデキも一変。前2走優秀なサクラゴスペルが相手。

首位有望

馬単 5-8, 5-7, 5-14, 8-7, 5-13, 5-11, 5-15

3連単 1着 5, 2着 7/8/11, 3着 7/8/11/15

3連複 5-7-8, 5-8-14, 5-8-13, 5-8-11, 5-8-15, 5-7-14, 5-7-13, 5-7-11, 5-7-15

展開 1内 5, 2外 7/8/11, 3内 7/8/11/15

本紙の見解 鍵だが、まだ伸びしろも十分。連勝で復調気配のサクラゴスペルが完勝といえる内容。良馬場ですらにこの期待も。ツルマルレオンは、再昇級後みれば今回も善戦。復調とみれば今も力が出し切れず、近走は出遅れが繰り返しているサドルストライダーが、5走前から末脚生かせる流れで浮上。サクラアドニスは今回相性が2戦①3着と中山好相性だが、狙えば、中山千二で連勝中のラフレズカフエや、距離短縮で新味が出そうなセブンスターレウ、前走も着順ほど負けていないニシノビークイック、初の芝となるポアンブラックら4歳勢。

相木の単複連 中山千二に良績を残す馬が少ない中、サクラゴスペルは前回1分08秒7(33秒)の好走で、9日着差以上の楽勝だった。時計は楽に詰まる。絶対調ラフレズカフエ本線。

重賞勝ちの実績。近走も大崩れなく、引き続き注意が必要。

ハクサンムーンは厳しipeiの2走前大敗から一転、前走重賞V。同型との兼ね合い

エーシンホワイティは3歳時重賞勝ちの実績。近走も大崩れなく、引き続き注意が必要。

マイヤセプターだが、前々走アタマ差の着の内容から千二で見直し。元々の素質も上位。

ダッシュゴーゴーは一昨年ト重賞で好走。久々でハンデ

59・大外枠だった前走からまだ衰えはなく、ここも有力。阪神Cでは人気1着のアド



大川浩史

これでスローだったら泣く
 先週も(阪急杯のマジックロ
 スパー)に関連して書いたこと
 だが、今年のシルクロードSは
 奇妙な競馬だった。前後半35秒
 0.33秒6という超スローなの
 に、皆で必死に抑えて半数以上
 の馬が引かかっていた。
 当時の◎はニシノビークイッ
 ク(中山11R)。距離が長く、
 外を回ったアウトの馬場と流



▼桜花賞(4月7日)の最重要な
 トライアルが、きょうの一チ
 ユーリップ賞-GⅢ。
 過去10年、桜花賞で③着以内
 に入った30頭のうち、4割強の
 「13頭」がチューリップ賞の出
 走馬。他のステップレースを圧
 倒している。

▼また、06年末から現在の新版
 神コースに移って以降、直線が
 長く紛れの生じにくいマイル戦
 になり、阪神JFの『阪神JF
 ↓チューリップ賞』桜花賞の
 結びつきは強くなった。のちの
 オークスまで関係する。

阪J:チ:桜:オ
 07ウオッカ ①→①→②→①
 08トルポピー ①→②→③→④
 09ブエナビスタ ①→①→①→①
 10アパパネ ①→②→①→①
 11レイヴディソ ①→①→①→①
 12ジョウドヴィ ①→③→⑥→⑥
 07年のウオッカはダービー馬
 となり、桜花賞で凡走の08年ト
 ールポピーはオークス馬。
 昨12年は、チューリップ賞は
 ④着にとどまったジェンティル
 ドンナが、桜①→オ①→秋①着
 のあと、ジャパンCまで制した
 からジョウドヴィの成績

れだった京都金杯で1秒差なら
 上々だと思っただけだが、あの
 奇妙な展開ではドモナラス。
 ◎今回は京都よりは差しやすい
 中山で、しかも(普段は展開読
 みをやらない私でさえ)ハイベ
 ースだと読めるので再び◎。以
 下は「ハイペース必至」の根拠。
 ハクサンムーンはハイペース
 の京阪杯①着。「ハクサンム
 ーンが引ればハイペース」とは言
 えませんが、今回は(結果はとも
 か)行くだけは行くポアゾン
 ブラックがいる。どちらかが譲
 るとは考えられない。

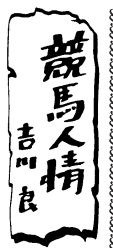
は仕方がなかった▲
 ▼阪神JFを1分34秒2。桜花
 賞並みの快時計で勝っているロ
 ーブタイサイジュは、近年のパ
 ターンからすると、このチュー
 リップ賞は強気になれる。
 母の父シングスピールは、そ
 の産駒ロエングリンが朝日杯
 FSの③着馬を送るなど、代
 を経て影響力を発揮し、今春の
 クラシックのカギを握る種牡馬
 でもある。

▼レッドオーヴァルは1月の紅
 梅Sの勝ち馬。中京千四を1分
 21秒5で圧勝のあと、重の京都
 千四を1分23秒5。異なる馬場
 状態で圧勝している。
 03年ステューリクラブが、紅
 梅S①着、チューリップ賞②着
 のあと、牝馬3冠馬となった▲
 ▼クロフネサイライズは、桜花
 賞【54110】の武豊騎手にチ
 ャレンジしてきた。
 ここ2、3年不振だったが、
 弥生賞(日)では、コンビで桜花
 賞と秋華賞を制したファレノブ
 シスの半弟で、ディープリンバ
 クト産駒のキズナにも乗る。
 クロフネ(武豊騎手)でG12
 勝)産駒のクロフネサイライズ
 は、11年の牝馬3冠②③着ホ
 エルキヤブチャと同じ声毛。
 甦った牝系出身のトランセン
 ドと同じ一族である▲(柏木)



小木曾大祐

なかなかわかなくなりませんが
 今日(チューリップ賞、明日は
 弥生賞と、競馬の番組は一気に
 春へと近づいています。
 ◎、前フリをしておきながら
 推奨馬は違うレースから、まず
 は③Rのファストソング。前走
 は1秒近い出遅れ十直線は前が
 壁で追えず終い。まともなら、
 もっと差は詰まっていた。
 前々走はフロックではなく、今
 回は単勝に旨みがあります。
 ◎Rはサクラボールド。前走
 は直線を外に出そうとしました
 が外から被され、それでは内へ
 と進路を切り替えたなら、今度は
 前が壁。前々走も直線包まれ馬
 なり入線と、消化不良の競馬が
 続いています。溜まりに溜まっ
 た鬱憤を今度こそ晴らします。



競馬人情 吉川良

昔の草野球チームの仲間が死
 んで通夜の帰り、いっしょに行
 った連中と、鎌倉駅近くの居酒屋
 屋に入った。
 「近ごろよ、リョウさんの目利
 競馬、関東馬を勝たせてえから
 の一点張りだな。あれじゃ予想
 でなくて、クソジジイのイジッ
 てやっだ」
 馬券大好き、植木屋の昭ちゃ
 んが笑い。
 「そのとおり。おれももうすぐ
 ホトケさまよ。クソジジイのイ
 ジしか楽しみがないの」
 と私も笑った。
 その昭ちゃんとの会話を思い
 だしながら、チューリップ賞の
 メンバーを見た。



藤本貴久の「囃しき」

中山7R エジル
 外出中に先輩TMから着信
 履歴。慌てて掛け直すと「懐
 メロ大会やってるから聞かせ
 てやる」と昼カラでほろ酔い
 上機嫌。後日、聞くと他にも
 被害者が「やれやれ」「完勝の
 前走内容から昇級も即突破」

- ◎オーションS優勝馬の前走成績
 16年シルキーラダイン ガーネ⑧
 17年シルキーラダイン C B C ⑫
 18年ネイティヴハート 4ヵ月休
 19年アイルラヴァゲイン すばる⑦
 20年プレミアムボックス 準OP ①
 21年アーバニティ 準OP ①
 22年キンシャサノキセキ 阪神C ①
 23年ダウシャギー 京阪杯④
 24年ワンカラット 淀短距④
 *17年まではオープン特別

あらあら、関東馬はアユサン
 しかない。
 そうだった、去年のチューリ
 ップ賞は、関東馬ハナズゴール
 が、デムーロ騎乗で見事にチュ
 ーリップを咲かせたのだった。
 アユサンの丸山元気よ、重賞
 で関東馬に勝ってほしいとい
 うジジイの願いは、イジばかりで
 もないのだ。いろいろな意味を
 こめていること、わかってくれ
 るよね。
 アユサンからヴィルジニア、
 レッドオーヴァル、ロープティ
 サージュへの馬単3点買い。
 オーションSは横山典弘のサ
 クラゴスベルに頼む。柴山雄一
 のラフレズカフエへの馬単1
 点勝負だ。
 昭ちゃんの顔が浮かんでく
 る。バカやってらあ、と言われ
 ちゃうね。